作成日：2026 年 3 月 25 日（第 2.0 版）

研究課題名
【当院におけるアドバンス・ケア・プランニング（ACP）面談記録を用いたがん患者の語り構造に関する探索的研究】

【研究へのご協力のお願い】

研究のため、患者さんの診療情報を使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。研究成果は、医学の発展に役立つように学会や学術雑誌等で発表させていただきます。その際は患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【研究の目的】

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）とは、もしものときのために、患者さん自身が望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療チームと話し合い共有するもので、厚生労働省が「人生会議」という愛称で普及啓発を行っている取り組みです。最期まで自分らしい人生を送るために、自分の価値観や希望をあらかじめ共有し、意思決定を支援することを目的としています。

ACP での患者さんの語りは、従来の医学研究で扱われてきた治療成績や予後指標とは異なり、治療選択に対する思いや生活背景、価値観を反映する重要な情報です。しかし、これらの語りは個別性が高く、体系的に解析された報告は限られています。本研究では、当院において ACP の面談時または通常診療において医師又は看護師との面談で、患者さんの思いや価値観、具体的な希望などが記録されたがん患者さんの自由記述データを対象に、有用な情報を抽出し解析することで、がん患者さんの意思決定過程における語りの特徴を客観的に可視化し、当院での ACP 実践の質の向上および多職種連携支援に寄与することが期待されます。

【研究期間】

本研究の研究期間：2026 年 3 月～2028 年 3 月

【研究の方法】

本研究は、ACP 面談記録を含む診療情報を用いた後ろ向き観察研究です。ACP 面談または通常診療において、医師または看護師が診療録に記録した自由記述文から患者さんの思いや価値観、具体的な希望など必要情報を抽出し、個人識

別情報を除去し匿名化を行った後、解析を行います。

また、泌尿器科癌患者さん、消化器癌患者さん、呼吸器科癌患者さんで、治療関連用語、生活関連用語などを含む文の割合を算出し、群間比較を行います。

【研究の対象者】

2024 年 1 月～2026 年 1 月の間に、泌尿器癌、消化器癌、呼吸器癌で当院に受診された患者さんのうち、がん相談支援で ACP 面談を受けた患者さん、または通常診療において、医師または看護師により診療録へ自由記述として患者さんの思いや価値観、具体的な希望等について記録された患者さん。

【研究に用いる情報】

ACP 面談または通常診療において、医師または看護師が診療録に記録した自由記述文（患者さんの思いや価値観、具体的な希望など）を研究対象データとします。

【個人情報の保護について】

診療情報を収集する際に、患者さん個人を特定する情報はすべて匿名化するため、個人情報は保護されます。

【利益相反について】

本研究を行う上で、企業等からの資金援助等はなく利益相反はありません。

【倫理審査について】

本研究は、原三信病院の「臨床研究倫理審査委員会」で審査され、実施について承認されています。

【診療情報の利用をご了承いただけない場合・お問い合せについて】

ご自身（またはご家族）の診療情報を研究に使用しないでほしいと希望される場合は、研究への利用をいたしませんので、2026 年 10 月 10 日までに下記の「研究の問い合わせ先」までご連絡ください。また、本研究に関する研究計画書などの資料の閲覧希望やその他のお問い合わせの場合も、下記の「研究の問い合わせ先」までご連絡ください。

作成日：2026 年 3 月 25 日（第 2.0 版）

【研究の問い合わせ先、担当者】

研究責任者：原三信病院　泌尿器科　志賀　健一郎

連絡先：〔TEL〕092-291－3434（代表）